

# 日本再建 のたための 危機管理

～復元力ある社会を目指して～

(財)日本再建イニシアティブ × 東京大学理学系・工学系研究科 シンポジウム

2012年6月9日(土) 13:00～18:00

東京大学 本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

主催



RJIF  
Rebuild Japan Initiative Foundation

一般財団法人日本再建イニシアティブ



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

- ご挨拶 相原博昭 東京大学 理学系研究科長
- 基調講演 北澤宏一 福島原発事故独立検証委員会委員長、日本科学技術振興機構前理事長「福島原発事故対応に見る危機管理の本質 ムラと“空気の読み合い”」
- 特別講演 福山哲郎 参議院議員、前内閣官房副長官
- 対談セッション「絶対安全神話：なぜ危機は語られないのか」【モデレータ】 山田孝男 毎日新聞 編集委員、鈴木一人 北海道大学 公共政策大学院教授、松本三和夫 東京大学 人文社会系研究科教授
- 対談セッション「リスクコミュニケーション：情報の伝え方・受け止め方」【モデレータ】 高橋万見子 朝日新聞 論説委員兼GLOBE記者、塩崎彰久 弁護士、大塚孝治 東京大学 理学系研究科教授
- パネルセッション「今後のリスク・ガバナンスはどうあるべきか」【モデレータ】 小野由美子 Wall Street Journal 日本支局長／問題提起：谷口武俊 東京大学 政策ビジョン研究センター教授  
ディスカッション 鈴木教授、松本教授、塩崎氏、大塚教授、谷口教授、北澤氏
- 総括 「復元力(レジリエンス)」 北澤宏一 福島原発事故独立検証委員会委員長 司会：東京大学理学系研究科 横山広美准教授

# 日本再建 のための 危機管理

東日本大震災や福島原発事故で浮き彫りとなった日本の危機管理の脆弱性はいかにしたら克服できるのか。自然災害やテロなど今後起こりうる危機への対応に向けて、今何を考え準備すべきか。平時からのリスク意識醸成、リスクを最小化するためのマネジメント、危機が起こってしまった時の意思決定構造、情報の共有方法・伝達手段、専門家・政府・企業・自治体・メディア・アカデミアの連携など、様々な角度から危機管理を考える。

～復元力ある社会を目指して～

主催：一般財団法人日本再建イニシアティブ、東京大学 後援：株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン

## PROGRAM

司会：	横山広美	東京大学 理学系研究科准教授
13:00-13:05	●ご挨拶	相原博昭 東京大学 理学系研究科長
13:05-13:35	●基調講演	北澤宏一 福島原発事故独立検証委員会委員長、科学技術振興機構前理事長 「福島原発事故対応に見る危機管理の本質 ムラと“空気の読み合い”」
13:35-14:00	●特別講演	福山哲郎 参議院議員、前内閣官房副長官
14:00-15:00	●対談セッション 「絶対安全神話：なぜ危機は語られないのか」	【モデレータ】山田孝男 毎日新聞 編集委員 鈴木一人 北海道大学 公共政策大学院教授 松本三和夫 東京大学 人文社会系研究科教授
15:00-15:10	休憩	
15:10-16:10	●対談セッション 「リスクコミュニケーション：情報の伝え方・受け止め方」	【モデレータ】高橋万見子 朝日新聞 論説委員兼GLOBE記者 塩崎彰久 弁護士 大塚孝治 東京大学 理学系研究科教授
16:10-16:20	休憩	
16:20-17:30	●パネルセッション 「今後のリスク・ガバナンスはどうあるべきか」	【モデレータ】小野由美子 Wall Street Journal 日本支局長 問題提起 谷口武俊 東京大学 政策ビジョン研究センター教授 ディスカッション 鈴木教授、松本教授、塩崎氏、大塚教授、谷口教授、北澤氏
17:30-17:40	●総括 「復元力(レジリエンス)」	北澤宏一 福島原発事故独立検証委員会委員長